

令和七年度卒業証書・修了証書授与式 式辞

本日、福井工業高等専門学校本科と専攻科の卒業証書および修了証書授与式を迎えられたことは、私共教職員一同にとりまして大きな慶びであります。ご卒業される皆様に本校の教職員並びに在學生を代表して心からお祝い申し上げます。また、今日のこの日に至るまで、長きにわたりご支援を賜りました保護者ならびに関係の皆様は厚く御礼申し上げます。

このたび晴れて卒業の日を迎えられた卒業生は、準学士課程では 189 名、専攻科課程では 35 名の合計 224 名になります。ご卒業・修了される皆様に心からお祝い申し上げます。

皆さんは、本校において「優れた実践力と豊かな人間性、創造性を備え、社会の多様な発展に寄与できる技術者を育成する」という基本理念のもと、たゆまぬ研鑽を重ねて参りました。日々の講義や実験、そして研究活動を通じて修得された幅広い教養と専門知識は、皆さんの生涯を支える揺るぎない礎となるものです。しかし、真の意味での学びとは、この節目を機に、新たなステージにおいて幕を開けるものに他なりません。

現代社会に目を向ければ、生成 AI をはじめとした新たなテクノロジーが、我々の想像を絶する速度で社会構造を塗り替えています。生成 AI は膨大な情報を蓄積し、迅速に知を提示する優れた道具ですが、これからの技術者に求められるのは、提示された情報を峻別し、真に必要なものを選び取って活用する「使いこなす力」です。そのために皆さんに磨き続けてほしいのが「問いを立てる力」です。「何が効率的か」という問い以上に、「何が人々の幸福に繋がるのか」「どのような新しい価値を生み出すべきか」を深く思索し、具現化していく力、これこそが、本校で培った工学的な知性と豊かな人間性が結実したものであり、皆さんの進むべき方向を指し示す不変の道標となります。幅広い知識をもとに豊かな発想力を備えた技術者としての真の研鑽は、卒業・修了を機にこれから始まると言えるでしょう。

現在、私たちは地政学的な緊張の高まり、深刻な環境問題、急速な DX 化など、正解のない複雑な課題の荒波の中に立たされています。このような時代を生き抜くためには、「地図ではなくコンパスを持つ」ことが肝要です。変化の激しい現代において、既成の道を示す「地図」は、書き換えられる前にその役割を終えることがあります。しかし、自らの志す方向を示す「コンパス」があれば、未知の領域へも勇気を持って歩を進めることができます。福井高専で培った専門性、独創性、人間性、そして国際性という四つの指針は、皆さんの生涯を導く「揺るぎないコンパス」となるはずです。変化に惑わされずテクノロジーの進展を的確に見通す「専門性」、既成概念に囚われず解決策を見出す「独創性」、他者への共感と倫理観を重んじる「人間性」、そして多様な価値観を認め世界と繋がる「国際性」、これらを統合し、客観的な事実に基づいて正しく判断し、社会の発展に寄与していくために、どうか生涯を通じて学び続けてください。

故事に「学問に王道なし」という言葉があります。地道な努力の積み重ねこそが、非凡な成果を生みます。本校での学びを基礎としつつ、広大な世界に向けて常に謙虚な学びの姿勢を保ち、自分自身を磨き上げてください。その真摯な姿勢こそが、新たな価値を創造

する力の源泉となります。

福井の地から雄飛していく皆さんは、本校の誇りです。皆さんは、多様な出会いから学び、互いの違いを尊重し合う寛容さを持ち、挑戦の歩みを止めることなく突き進んでください。諸君が力強く踏み出すその一歩は、必ずや後進の希望へと繋がっていくはずです。新しい世界を切り開く先駆者としての皆さんの前途が、輝かしいものであることを心より祈念いたします。

最後に、これまで学生諸君を見守りご支援頂いた保護者の皆様、関係者の方々にお祝いと感謝を申し上げますと共に、卒業生・修了生に輝かしい未来が開けますよう、益々のご支援ご鞭撻を頂きますようお願い申し上げます。

教職員一同、卒業生、修了生の皆さんのご多幸とご発展を衷心より祈念して、式辞いたします。

令和八年三月十八日

独立行政法人国立高等専門学校機構

福井工業高等専門学校長 長谷川 章